

福井県立恐竜博物館令和3年度特別展
「海竜 ～恐竜時代の海の猛者たち～」企画概要書

1 概要

恐竜が陸上を闊歩していた中生代には、首長竜類やモササウルス類などの巨大な海生爬虫類が海の中で繁栄していた。しかし、これらの海生爬虫類の生態や進化については、一般にはそれほど広く知られていない。そこで本企画展では、“海竜”とよばれる絶滅した海生爬虫類に注目し、その生態や進化の秘密に迫る。また、巨大な海生爬虫類の繁栄を支えた豊かな海の環境について、当時のユニークな海生動物化石や最新のCG動画、環境復元画により、時代ごとに詳しく紹介する。

さらに、中生代における陸上の覇者であったティラノサウルス類についても、当館との共同発掘により発見された長崎市の標本やロボットなどにより紹介する。

なお、海生爬虫類をメインテーマとする特別展は、当館では初めての開催となる。

2 開催期間

令和3年7月16日（金）から10月31日（日）までの108日間

（ただし、9月8日（水）、9月22日（水）、10月13日（水）、10月27日（水）は休館）

3 営業時間

午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

※ただし、夏休み期間（7月22日（木）（祝）～8月31日（火））は午前8時30分から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）

4 開催場所

福井県立恐竜博物館特別展示室（福井県勝山市村岡町寺尾51-11）

5 展示・企画内容

展示は大きく5つのゾーンに区分し、約80点の標本を展示する。また、「名探偵コナン」のコナン役の声優 高山みなみさんによる標本の音声解説を行う。

(1) 海へと進出した海竜たち

(ア) 内容（全13点）

ペルム紀末の大絶滅から急速に回復する三畳紀の生態系の中で、海へと進出して多様化した初期の海生爬虫類の進化について、浙江自然博物院所蔵の化石を中心として紹介する。また、海の様子について、化石の展示により紹介する。

(イ) 主な展示物

- ・グリフォデルマ・カンギ（板歯類）〈実物・日本初公開〉
- ・キアモドゥス・オリエンタリス（板歯類）・全長1.5m〈実物・日本初公開〉
- ・シノサウロスファルギス・ユングイエンシス（板歯類）〈実物・日本初公開〉
- ・コンカビスピナ・ピセリデンス（タラットサウルス類）〈実物・日本初公開〉
- ・シャスタサウルス・タンガエ（魚竜類）〈頭部実物・日本初公開〉

- ・ポタニクティス・クシンギエンシス（史上初とされる空飛ぶ魚）〈実物・日本初公開〉
- ・東北地方より産出した三畳紀のアンモナイト類〈実物〉

(2) 魚竜の進化と繁栄

(ア) 内容（全30点）

後期三畳紀～ジュラ紀に大繁栄した魚竜類の進化と繁栄の秘密に迫る。中でも魚竜類の初期進化を解明する上で重要な鍵を握るとされるウタツサウルスについては、実物化石やCG動画を用いて詳しく紹介する。

また、魚竜類が繁栄したジュラ紀の海では、アンモナイト類もまた多様化と繁栄を遂げた。福井県は日本有数のジュラ紀アンモナイト化石の産地として知られる。そこで福井県より産出した中期～後期ジュラ紀のアンモナイト化石や当時の環境復元画の展示により、ジュラ紀の福井県に広がっていた海の様子について紹介する。

(イ) 主な展示物

- ・ウタツサウルスの模式標本〈実物〉
- ・ウタツサウルスのCG動画〈初公開〉
- ・タイサウルス・チョングラクマニイ〈実物・日本初公開〉*予定
- ・ショニサウルス・シッカニエンシス・全長3.8m(頭部模型)
- ・福井県大野市より産出したジュラ紀のアンモナイト類〈実物〉
- ・「ジュラ紀の福井に広がる海」環境復元画

(3) 海の覇者となった海竜たち

(ア) 内容（全20点）

白亜紀には、首長竜類やモササウルス類が巨大な体を獲得して当時の生態系の頂点に君臨した。そこで、全長約13mに達するティロサウルスの全身骨格をはじめとする白亜紀の大型海生爬虫類の進化やその生態について、CG映像などを交えてわかりやすく解説する。また、巨大な海生爬虫類の繁栄を支えた白亜紀の豊かな海の様子についても、化石の展示により併せて紹介する。

(イ) 主な展示物

- ・ティロサウルス・プロリゲル全身骨格・全長約13m〈複製・当館初公開〉
- ・エラスモサウルスの一種全身骨格・全長8.3m〈複製〉
- ・アルバートネクテス・ヴァンデルヴェルデイ〈複製〉
- ・プロトステガ・ギガス全身骨格〈複製〉
- ・ステネオサウルス・ボレンシス〈実物〉
- ・シファクティヌスの一種〈実物〉
- ・メソプゾシアの一種〈実物・当館初公開〉
- ・イノセラムス・ホベツエンシス〈実物〉
- ・「後期白亜紀のウェスタン・インテリア海」環境復元画〈当館初公開〉

(4) 白亜紀の日本に広がる猛者たちの海

(ア) 内容（全8点）

北海道むかわ町穂別からは、海生爬虫類をはじめとする白亜紀の多様な海生動物化石が産出することで知られている。そこで、むかわ町穂別博物館が所蔵するモササウルス類や首長竜類などの化石や、当時の同地域の環境復元画の展示により、後期白亜紀の日本周辺における海の様子について紹介する。

(イ) 主な展示物

- ・フォスフォロサウルス・ポンペテレガンス(模式標本複製)
- ・モササウルス・ホベツエンシス(右前肢複製)
- ・“ホベツアラキリュウ”(胴椎実物)
- ・メソダーモケリス・ウンデュラータス〈頭骨実物・世界初公開〉
- ・パキディスカス・ジャポニクス〈実物〉

(5) 陸の猛者、ティラノサウルス類

(ア) 内容(標本数は調整中)

巨大な海竜が海中を支配した白亜紀に陸上に君臨した猛者であるティラノサウルス類について、化石やロボットを用いてわかりやすく解説する。また、当館との共同発掘によりティラノサウルス類の化石が発見された長崎市の取組みについても紹介する。

(イ) 主な展示物

- ・ティラノサウルス・レックス(下顎骨実物)
- ・エオティラヌス復元頭骨〈世界初公開〉
- ・長崎市産出の恐竜類化石〈複製〉

(6) 恐竜ロボット

(ア) ティラノサウルス幼体生体復元ロボット・全長約3m・高さ1.5m〈初登場〉

(イ) フクイベナートル生体復元ロボット・全長約3m・高さ1.5m〈初登場〉

6 特別展講演会(予定)

(1) 期 日 7月31日(土)

講 師 佐藤たまき博士(東京学芸大学)

(2) 期 日 8月29日(日)

講 師 中島保寿博士(東京都市大学)

7 特別展関連行事

(1) 解説ツアー(特別展担当者による) 4回

(2) 博物館セミナー 1回

8 化石発掘体験

タイ・コラート県の共同発掘現場の石(コラート化石博物館とタイ・鉱物資源局の協力により昨春搬入)を使った化石発掘体験を実施

ア 場 所: ティラノガーデン(博物館通用玄関左手)

イ 期 間: 7月22日(木・祝)～8月31日(火)

ウ 参加対象: 小学生以上

エ 参加人員: 1日3回(20人/回)

オ 参加料: 有料(検討中)

9 入場料(税込み)

(1) 一般: 1,300円、大学・高校生: 800円、小・中学生: 600円、
70歳以上: 500円

(2) 団体料金 (30名以上) 一般：1,100円、大学・高校生：600円、
小・中学生：400円

10 展示解説書 (税込み)

1,000円/冊

11 主催

「海竜」実行委員会 (福井県立恐竜博物館、福井新聞社)

12 共催

NHK福井放送局

13 特別協力

浙江自然博物院、タイ王国鉱物資源局、東北大学総合学術博物館、むかわ町穂別博物館

14 協力

ダイナソーアイル博物館、福井市自然史博物館、東京都市大学、
北九州市立自然史・歴史博物館、NHKエンタープライズ、長崎市教育委員会、
気仙沼市教育委員会

15 後援

駐日中国大使館、富山・石川・岐阜・滋賀 各県教育委員会
FBC、福井テレビ、FM福井

16 目標入場者数

25万人